



CHARTERED IN
NOVEMBER 21, 1955

— 主 題 —

国際会長 「Values, Extension and Leadership」
 アジア会長 「変化をもたらそう」
 東日本区理事 「変化を楽しもう」
 北海道部部长 「心高めよう
 ワイズダムの繫りを友情の輪に」
 札幌クラブ会長 「楽しみを持って 喜びを持って」

THE SERVICE CLUB OF YMCA
 THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S
 THE Y'S MEN'S CLUB OF SAPPORO

2021年4月

札幌クラブ

LT・RBM (リーダーシップトレーニング・ロールバック マラリア)

Jacob Kristensen (デンマーク)

David Lua (シンガポール)

板村 哲也 (武蔵野多摩)

中村 義春 (十勝)

宮崎 善昭 (札幌)

札幌クラブ役員
 会 長 宮崎 善昭
 書 記 柴田 伸俊
 会 計 秋葉 聡志
 直前会長 伏木 康

今月の言葉

▼凡庸な教師はただしゃべる ▼よい教師は説明する
 ▼優れた教師は実践して見せる ▼偉大な教師は生徒の心に火をつける
 ウイリアム・アーサー・ウオード (中田靖泰選)

『理念(抽象) ⇄ 事業(具体) の往復』 北川 佳治



YMCA の使命・存在意義は、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の生き方(理念)を体現し続けることでもあります。

ただ、この使命を果たしていく上で、抽象的概念である YMCA 理念(神様の御言葉・御心)を、事業として具体化し、また、それを組織として足並みを揃えようと感じています。

確かに、事業方針計画という指針があり、その点では、ある程度具体的な事業内容や方向性が示されており、明快に歩みを揃えていけるとは思います。

一方で、その事業方針計画の中にも抽象度がある程度残されたものがあったり、また、事業方針計画に載ってこない現場レベルの微細な部分にも理念を具体的に反映させる必要があったりし、個々人のベクトルが微妙にずれる現象が散見されます。私が現在担当しているのがウエルネス事業ですが、この事業にもその難しさがあります。

例えば、(ルカ 15・4) のように、『一人ひとりを大切にする』を題材にしても、何をどのように大切にするのか。しっかり一人ひとり敬称をつけて名前を大切に。日ごろから個々を承認し続け存在を大切に。一つひとつの技能や精神面の成長度を向上させ大

切にする等、細かい具体を出すと切りがなく、ともすると、各々で解釈が変わってしまいます。

これらを具体的に方向づけていく上で重要なのが、この抽象的な『理念』に対して、スタッフ相互に話し合い、確かめ合い、同じ言葉にしていくことだと考えます。その過程の中で、同じ方向性を見出し、それらを具体的な形として事業に落とし込んでいけるのだと思います。札幌 YMCA ウエルネスセンターでも、現在、スタッフの共通意識として、理念を現場へ具体的に落とし込んでいく取り組みを改めて強化し始めています。

ただ、ここで一点注意したいのが、いくら理念の捉え方や方向性が揃っているからと言い、具体的に走りすぎる余りに固定的観念になり、「これで間違いない」という考え方に陥ってしまわないことです。そのために、私たちは事業(具体)として現場で取り組んでいることを、事あるごとに理念(抽象)に立ち返ることが大切になります。

その手段として、月に1・2回行う職員礼拝やキリスト教理解研修等だけではなく、日常の現場研修においても、単なる指導スキルの習得に留めず、常に理念とスキルを同時に学べる工夫にも取り組んでいきたいと考えます。

理念と事業とを日ごろから往復できる習慣をスタッフそれぞれが身に付け、YMCA としての使命をより一層強固なものとして果たし続けられるように邁進していきたいと考えています。

2021年3月例会

出席報告

在籍会員 8名

例会出席 6名(内 2名インターネット)

メネット 0名

ゲスト 0名

ピジター 0名

出席者合計 6名

出席率 75%

札幌ワイズメンズクラブ 2021年4月例会

日時：2021年4月20日（火） 18:30～19:30

会場：北海道YMCA101 教室

札幌市中央区南1条西1丁目

Tel. 011-561-5217

会費：1,000円

プログラム

- | | | |
|-----------------|----------|-------|
| | 司会 | 柴田 伸俊 |
| ① 開会点鐘 | 札幌クラブ会長 | 宮崎 善昭 |
| ② ワイズソング、ワイズの信条 | | 全員 |
| ③ 聖句 | 柴田 伸俊 | |
| ④ 会長あいさつ | 会長 宮崎 善昭 | |
| ⑤ 誕生日 | なし | |
| 結婚記念日 | なし | |

⑦ 卓話

「東日本区法人化状況報告」

札幌ワイズメンズクラブ会長

宮崎 善昭

⑧ 協議

「ワイズユースクラブ」 全 員

⑨ 諸報告

⑩ YMCA 報告 YMCA 担当主事 北川佳治

⑪ 今月の歌

「隅田川」

(春のうららの....)

⑫ 閉会点鐘 会長 宮崎 善昭

札幌ワイズメンズクラブ3月例会

日時：2021年3月16日（火） 18:30～19:30

場所：北海道YMCA101 号室

出席者：秋葉、北川、柴田、宮崎、
(internet参加) 小野、中田

卓話は、北海道YMCA総主事である秋葉聡志会員が札幌ランチ会館建築構想」というテーマで話された。老朽化し、配置的にも合理性がなくプログラム参加者数が体育関連からチャイルドケア関連にシフトしていることを考えると、新会館建設は必至の、そして喫緊の課題である。更に現事業を停止できないので、事業を展開しながら会館建設を行う必要がある。また、YMCAは山鼻地区というイメージもあることから条件を満たすプログラム別使用面積を再考しつつ現在の場所の近くに一部または全部を移転することが重要な要素となる。

新しい時代のYMCA運動を建物で具現化しているための知恵が更に求められていくというお話であった。同時に建築募金も開始されることからYsとしての協力の在り方を考えて行かなければならないと思った。(宮崎記)

札幌ワイズメンズクラブ3月事務会

2月23日（火）19:00～20:00 (Googlemeet)

出席者：宮崎（長）・中田・秋葉・北川

日時：3月23日（火）19:05～19:35

1. 4月例会・事務会について

【例会】

日時：4月20日（火）18:30～19:30

場所：札幌YMCA+オンライン

卓話：宮崎会長「東日本区法人化に向けての状況報告」

会費：1,000円（弁当持ち帰り）

※北ワイズに合同開催を呼びかける（宮崎会長より）

【事務会】

日時：4月27日（火）19:00～ オンライン

2. 今後の予定

①次期北海道部役員会 3月29日（月）19:00
宮崎会長参加

②北海道YMCA創立記念日集会 4月11日（日）
13:00～15:00 zoom

※札幌クラブメンバーは全員出席とします。

④YMCAチャリティラン 5月16日（日）
～オンライン開催の予定

⑤5月例会 5月18日（火）

事務会 5月26日（水）

※事務会は会長の都合により日程変更となります

⑥東日本区大会 6月12日（土）～13日（日）
オンライン開催となりました。

ホスト甲府21クラブ

⑦ 6月例会 6月12日（土）～13日（日）

事務会 6月22日（火）

何故この言葉を 中田 靖泰

子どもを教える教師だけに限りません。自分自身に関しても言えることです。ワイズのEMCでもただ「青少年のために」ではいけません。「説明し、実践し、実践して見せなければいけない」ということをこの言葉は教えてくれていると思います。ウオードの言葉で心に残っている言葉をもう一つ。「希望のない状況などない。希望がないと考える人がいるだけだ」。

3月例会卓話

「札幌ランチ会館建設構想」

北海道YMCA総主事 秋葉聡志



札幌ランチは、現在、教育館、本館、プール棟の3棟の会館で構成されており、特に教育館、本館の老朽化が進むとともに、プール棟もプール本体、配管等の老朽化が進んでおり、施設の更新期に差し掛かっている。このことは以前より課題となっていたが、築年数を考慮した場合には、耐震補強よりも建て替えを検討した方が

賢明との判断をした。

2016年8月より2年任期の「将来構想委員会」を設置し、札幌ランチの会館建て替えを中心に、現状理解と他YMCA事例研究、札幌市の政策理解、各事業の将来像等について議論を深めた。2018年度からは、「札幌ランチ会館検討委員会」へと移行し、具体的な構想化へと作業を進め、札幌ランチ会館構想原案として2019年3月理事会にて組織決定をし、さらに具体的な会館建設計画へと進めているところである。

会館整備・建替えスケジュールについては、北海道YMCA創立125周年の2022年度をアクションのタイミングとして第2期北海道YMCA中期計画(2020～2023)に位置付け実行することとしている。

事業コンセプト案としては、「多世代交流」と「多文化共生」を2つの柱として、仮称「チャイルドケア・ファミリーセンター構想」としている。幼少年を対象の中心とし、その親世代、祖父母世代を核とし、3世代が交流するYMCA、また、外国人を含め、多様な背景を持つ人々や様々な文化を受け入れ共に生きる、多文化共生が実現されるYMCAがそのイメージである。

中心となる事業は、

- A. 子どもを中心とした事業構成群
 - B. 背景にいるファミリー対象事業
 - C. 多文化共生プログラムで、
- ① 子どもの総合プロフェッショナルとして、認定こども園や児童デイ、アフタースクールなどの認可事業と文化教養事業を中心とした「チャイルドケアセンター」
 - ② プール、フロア系スポーツ、野外教育を中心とした「ファミリーウェルネスセンター」
 - ③ 専門学校、日本語学校、交際協力事業などの「多文化共生センター」の機能を持ちたい。加えて
 - ④ 協働事業者とのコラボによる「収益事業」で組み立てたい。

会館構想案は3類型で捉えている。

- ① 敷地内別棟型は、同一敷地内に機能を分けた施設を建設し園庭を設置する(2階建+3～4階建)構想、
- ② 複合型は、単一施設にすべての機能をパッケージした高階層の会館を建設する(5階以上)構想、
- ③ 分館型は、チャイルドケアセンターを独立型とし、近隣2ヶ所に、機能を分けた施設を建設する考え方である。土地の獲得の仕方によって選択肢に含みを持っている。新会館の想定床面積比は、現行の比率よりもウェルネスの比率を下げ、チャイルドケア、多文化共生の面積を広げることを想定している。

建替えの選択肢と土地取得について、前提となるのは、

- ① 現行事業を止めずに整備・建替すること、
 - ② 中央区山鼻エリア近隣での建設の2点である。
- A. 移転新築と B. 現在地再開発が、考えられる選択肢であるが、
A. 移転新築を優先構想として候補地の確保を進めるとともに、

B. となる場合も代替施設の確保を含めて検討を進める。

共同事業体については、自己資金の無い状況での建て替えは、現行土地の有効活用、各種補助金の活用と合わせ、共同事業体との何らかの協働が必須要件である。他Yの事例等も踏まえて共同事業者を求めていきたい。必要なコンサルとの協働を進めていく予定である。

左： 2014年竣工の神戸ファミリーウェルネスセンター

下： 現在の北海道YMCA会館



YMCA ニュース 担当主事 北川 佳治

① 新年度開始

4月1日より順次、札幌 YMCA の各事業が開始され、全日制の入園式・入学式、ウエルネス・教育事業の入会式など、新たな会員を迎えるセレモニーが執り行われました。



2021年度も会員、その他ステークホルダー皆で「みつかる。つながる。よくなっていく。」を体現し、ポジティブネットを拡げられるよう、前向きな気持ちで歩んでいきましょう。



② 2021年度北海道 YMCA 創立記念日集会 4月11日(日)に創立記念日集会を開催します。北海道 YMCA 創立の思いに立ち返ると共に、ミッションステートメントに示された働きを再確認し、YMCA の理念を多くの人と分かち合う時として、創立記念礼拝・講演会を行います。

北海道部第2回評議会・次期役員研修会

コロナ蔓延防止のためオンラインで開催致します。

○ 開催月日 2021年4月26日(月)
午後7時00分～午後9時00分

○ 開催方法

Zoomによるウェブ会議 Zoom ミーティング

<https://zoom.us/j/95599722896?pwd=ZktrNk1xdk1NeFFqOFA5b0ZPU2g0UT09>

ミーティング ID: 955 9972 2896

パスコード: 853321

<第2回評議会>

議案については後日配布致します。

<次期役員研修会>

基調講演 2021-2022年度東日本区理事方針について
東日本区次期理事 大久保 知宏(宇都宮クラブ)

ZOOMの操作方法など不明な点については山下書記にお問合せ下さい。

E-mail pah01510@yahoo.co.jp

携帯 090-2072-1108)

北海道広域ユースクラブ(仮称)誕生か?

、北海道YMCAのユース担当の木田さんから卒業リーダーや退職した若手スタッフの受け皿として、ワイズユースクラブを作れないかとの提案がありました。対象となる青年たちが35名ほどいるそうで、道内に分散していますが、札幌クラブがリーダースポンサーになって立ち上げのサポートができないかと思っています。すでに、この3月で退職したあかみーや利尻にいるパピーなど、発起人の承諾を得ているリーダーOBもいるそうです。

卒業して社会人一年生となるリーダーたちにはワはずぐにワイズに入る時間的、経済的、精神的余裕などありません。彼らが成長してYMCAに戻ることが出来るようになるまで、YMCA、ワイズとのつなを保ち、無理のない形で「出来る時に、出来ること」をYのために出来るような組織を作ることが必要です。

4月20日(火)の札幌クラブの例会で札幌北クラブも交えて「北海道広域ユースクラブ(仮称)」の可能性を語り合います。ご期待ください。

ワイズの信条

1. 自分を愛するように、隣人を愛そう。
2. 青少年のためにYMCAに尽くそう。
3. 世界的視野をもって、国際親善をはかろう。
4. 義務を果たしてこそ、
権利が生ずることを悟ろう。
5. 会合には出席第一、
社会には奉仕第一を旨としよう。

北海道YMCA

**2021年度
北海道YMCA 創立記念日集会のご案内**

日時 4月11日(日)
13:00~15:00

実施方法 今年度はzoomを使っ
てのオンライン開催となります。

プログラム
12:45 zoomオープン
13:00 創立記念日礼拝開始
13:50 記念講演会開始
15:00 閉会挨拶

参加希望の方は、QRコードから申込み
サイトを入力するか、メールでお申し込み
下さい。当日URLとPWをお送りします。
f-kinfo@hokkaidoyymca.org

記念講演会 時間13:50~15:00

テーマ
「18歳成人」の時代とYMCAの役割

講師 田中 治彦さん
上智大学客教授
NPO国際教育協会理事
東京YMCA会員

18歳青年が成人として社会で活動するようになる時
代を目前に控え、これまでの社会はどのように変わ
っていく可能性があるのでしょうか。
ユースエンバウメントを使命にもつYMCAに求め
られる働きについて考えます。

北海道YMCAは、W・クラーク博士から聖書による教育を受けた札幌聖書の1期生と、1期生の強い影響を受けた2期生による
札幌バンド(キリスト教信託)によって築き上げられた青年の集団(の青年たちを礎として1979年に結成された札幌基督教青年
会)によってYMCA運動が始まり、今年124周年を迎えました。
4月1日を創立記念日と定め、創立の思いに立ち返ると共に、ミッションステートメントに示された働きを再確認し、YMCAの願い
を多くの人に伝え、共に学び合う時として創立記念礼拝・講演会を開催します。

公益財団法人 北海道YMCA 〒064-0811北海道札幌市中央区南1条西11丁目2-5 Tel.011-961-9227 FAX011-963-0041